

新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ 第47回 広島

オーディションによって選ばれた
将来を期待される音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演!

限りない可能性を秘めた、若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください



小山祐貴
Yuki Koyama
[エリザベト音楽大学 2年]

フンメル
トランペット協奏曲
変ホ長調

Trumpet



加藤陽介
Yosuke Kato
[カールスルーエ音楽大学大学院 卒業]

アルチュニャン
トロンボーン協奏曲

Trombone



桐本萌絵
Moe Kirimoto
[エリザベト音楽大学 3年]

トマジ
サクソフォン協奏曲

Saxophone



木村瑠菜
Runa Kimura
[東京藝術大学 3年]

シベリウス
ヴァイオリン協奏曲
ニ短調 Op.47

Violin

©Shigeto Imura

2019年

2月20日[水] 開演18:30
(開場18:00)

JMSアステールプラザ大ホール



指揮: 末廣 誠



管弦楽: 広島交響楽団

料金

全席自由 / 2,500円 (税込)

チケット発売日

2018年12月20日[木]

チケット取扱い

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・ローソンチケット(Lコード: 61865)
チケットぴあ(Pコード: 135-284)・中国新聞社読者広報部・広響事務局

主催: 文化庁、公益社団法人日本演奏連盟
公益社団法人広島交響楽協会

制作: 公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会
後援: 中国新聞社

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

お問い合わせ: 広響事務局 TEL.082-532-3080 [受付時間 平日 9:00~17:20]



Trumpet

Yuki Koyama

小山祐貴

山口県防府市出身。6歳からホルンを始め、9歳よりトランペットを始める。山口県立防府西高等学校を卒業後、エリザベト音楽大学に特待生で入学。現在エリザベト音楽大学音楽学部演奏学科トランペット専攻2年在学中。これまでにトランペットをラインホルト・フリードリヒ、山城宏樹、高橋敦、宮本弦、各氏に師事。2016年第33回中国コース音楽コンクール金管部門第2位。



Trombone

Yosuke Kato

加藤陽介

1988年大阪府高槻市出身。2007年に広島大学教育学部第四類音楽文化系コースに入学、2011年に同大学卒業。2012年に渡独し、1年間ハンブルク音楽院で研鑽を積み、2013年10月から2016年3月まで州立カールスルーエ音楽大学大学院で学ぶ。

2014年から2016年3月までBrass Surroundのメンバーとして、スイス国際室内音楽祭アーデルボーデン、ザウアーランドの秋プラスフェスティバル、スイス室内音楽祭アンデルマツなどの国際音楽祭に出演。

2015年から1年間、Live Music Now Oberrheinの奨学生となり、トロンボーン四重奏でドイツ各地で演奏活動を行う。

これまでにトロンボーンを三窪毅、小林泰一郎、清澄貴之、W. シュリッター、F. ベリ各氏に学び、H. ヴィーグラーベ、F. サットマリー＝フィリピッチュ、N. ヨハンセン各氏のマスタークラスを受講。2017年4月より大阪芸術大学演奏要員。



Saxophone

Moe Kirimoto

桐本萌絵

石川県出身。石川県小松市立高等学校 芸術コースを経て、エリザベト音楽大学 管弦打楽器専攻に入学。現在3年次在学中。

第24回 日本クラシック音楽コンクールサクソフォーン部門 高校の部において全国大会出場。

これまでにサクソフォーンを中田真砂美、宗貞啓二、田中靖人の各氏に師事。室内楽を中田真砂美、宗貞啓二、大森義基、宮田麻美、万代恵子、赤坂達三の各氏に師事。



Violin

Runa Kimura

木村瑠菜

広島県出身。3歳よりヴァイオリンを始める。

第20回KOBE国際音楽コンクール優秀賞、第16回大阪国際音楽コンクール アブニール賞、第37回 草津夏季国際音楽アカデミー 音楽監督賞、第20回さくらびあ新人コンクール第1位 さくらびあ大賞受賞。

2017、2018年 イタリアヴェローナにてイリヤ・グルーパー 教授のマスタークラスを受講し、修了演奏会に選抜される。2010年、2014年 コジマ・ムジカ・コレギアにてオーケストラと共演し、2015年7月初リサイタルを開催する。2017年度ヒロシマ平和創造基金奨学生。

これまでに小島秀夫、野口千代光、小栗まち絵の各氏に、現在沼田園子氏に師事。室内楽を川崎和憲、林俊昭、松原勝也の各氏に、現在青柳晋、菊地知也の各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て現在、東京藝術大学3年在学中。

指揮/末廣 誠

桐朋学園大学修了。1989年、N.リムスキー＝コルサコフのオペラ『サルタン王の物語』の日本初演において訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年ハンガリーにおいてサボルチ交響楽団を指揮。同年、ワイマールで開催された国際セミナーでエーナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と称賛される。1991年、第4回フィッテルベルク国際コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。

翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として多くの作品を指揮している。

帰国後は群馬交響楽団を経て1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、多岐にわたる活動を続けている。2016年には、ウィーン楽友協会合唱団のモーツァルト「レクイエム」を指揮し大好評を得た。高いレベルの演奏を引き出す手腕には定評があり、今後の活躍が期待されている。また、執筆活動のほか演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。



管弦楽/広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広島は、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年より終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>